

農林水産省関東農政局長賞

「おばあちゃんのおにぎり」

相模原市立淵野辺小学校

3年 山岸 琴音

わたしのおばあちゃんは出かけるときに、いつも、おにぎりをもってきています。たのんでいなくても、かばんの中に小さいおにぎりをいくつもいくつも入れていきます。わたしが「おなかすいた」と言うと、「おにぎりあるよ」と言っ、かばんの中からおにぎりをさしだしてくれます。

おばあちゃんのおにぎりは、やわらかくたいてあり、もっちりとしています。ときどき、もち米も入っています。中には、おばあちゃんのうめぼしが入っています。おばあちゃんとかせいのうめぼしは、とてもすっぱくてしょっぱくて、顔がきゆううとなつて、うめぼしのようになります。おばあちゃんは今ふうをするのがすきなので、おかかやしおこんぶをまぜることもあります。のりの代わりにごまがついているときもあります。わたしは、おばあちゃんのおにぎりを食べるとき、「中から何が出てくるのかな」とときどきします。おばあちゃんは大きな手なのに、おにぎりは小さく、にぎってください。わたしはいつもごはんをあまりたべられないのですが、おばあちゃんのおにぎりは三つも四つも食べてしまいます。

公園や動物園、りようなどで、わたしはいつもおばあちゃんのおにぎりを食べてきました。こんどのお出かけでは、どんなおにぎりが出てくるのか楽しみです。おかえしに、おばあちゃんにおにぎりを作ってこうかんするのもいいかもしれません。おばあちゃんのようにこぶ顔が見たいです。